



Ⅰ 高校について

沖縄県では、中学校を卒業後、高校に進学している人の割合は、令和 7 年度時点で **97.2%** でした。義務教育を終え、高校に進学する生徒が多いですが、皆さんは高校についてどれくらい知っていますか。小学校から中学校で大きく変わったように、高校も中学校と同じ“学校”とは言っても、中学校とは多くの違いがあります。5月に、1, 2年生を対象として進路学習会を行いました。改めて高校についてまとめてみましたので、再度確認してみましょう。

(1) 中学校とは違う学びかた（学校の種類）

種類	学ぶ時間帯	特徴と向いている人
全日制	中学校と同じように朝から夕方	一般的な高校生活。進学・部活も重視。学校生活を楽しみたい人に向いている。
定時制	昼もしくは夜	働きながらも学べる。少人数で落ち着いた環境。社会人経験者や再チャレンジの人にもおすすめ。単位制の高校もある。
通信制	自宅中心 決まった日に登校	レポート提出などを中心に自宅で自分のペースで学べる。通学が難しい人、芸能・スポーツ活動と両立したい人向け。

(2) 学校によって、様々な学科がある

種類	特徴
普通科	大学進学などを視野に入れ、幅広い教養と基礎学力を身につける一般的な学科。 文系・理系コース、特別進学や応用クラスを設ける学校が増えている。
専門学科	将来の職業に直結するような専門的な知識や技術を深く学ぶ学科です。 ・工業に関する学科：暮らしを豊かにする「もの」をつくる技術を学ぶ。 (電子機械科、建築科、土木科、自動車科など) ・商業に関する学科：計算事務や情報処理、簿記など商業の専門知識を学ぶ。 (商業科、国際観光科、情報処理科など) ・水産に関する学科：船舶の運航や漁業、水産物を使った食品製造などについて学ぶ。 (海洋科学科、海洋技術科など) ・農業に関する学科：作物の栽培や畜産、農産物の加工など、農業の知識と技術を学ぶ。 (農業科や園芸科、造園科、生物生産科、食と環境科など) ・福祉に関する学科：社会福祉の基本的な知識と技術を学ぶ。 ・課程に関する学科：食生活や保育の専門知識・技術を学ぶ。 (調理科、服飾デザイン科、生活情報科など) ・その他の学科：観光クリエイト、調理、服飾デザイン、理数科、芸術科(音楽・美術)、国際人文科、体育科など
総合学科	普通科と専門学科の両方の特徴を持ち、生徒が自分で時間割(科目)を選択して学べる学科で、大学進学や就職などの将来の進路に合わせて幅広い選択ができるのが特徴。

2 入試の仕組み

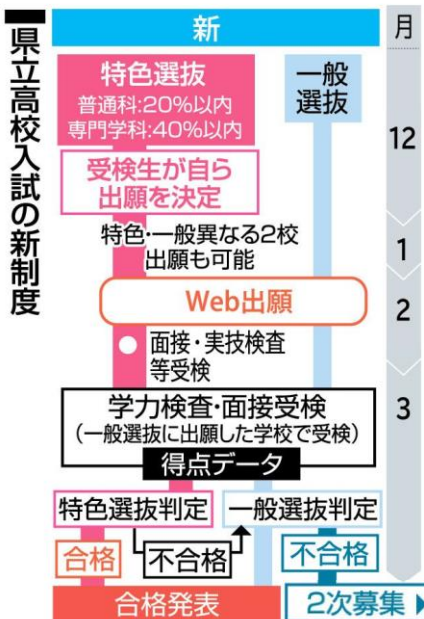
沖縄県の公立高校入試では、以下の 3 つの選抜方法があります。

特色選抜 中学校校長の推薦が不要な自己推薦型の選抜。各高校が求める生徒像(アドミッション・ポリシー)にもとづいて実施される。

一般選抜 例年 3 月上旬に実施され、5 教科の学力検査と面接を受けます。

第2次募集 特色選抜及び一般入試の合格者が決定したあとで、合格者が定員に満たない学科(コース)において、実施される。第2次募集は、原則として一般入試を受検し、合格できなかった生徒が受検する。

	特色選抜	一般選抜
出願	自ら出願することができる。ただし、各高校で定められている出願要件を満たす必要がある。Web 出願。	特色選抜と同じ時期に web 出願。
選抜方法	調査書 + 学力検査 + 面接試験 (+ 独自検査)	調査書 + 学力検査 + 個人面接
学力検査	国・数・英・理・社 (特色、一般ともに同じ試験)	
	記述式を除く各 50 点満点	各 60 点満点
配点バランス	学校によって学力検査や調査書、面接等の点数が異なる。	調査書と学力検査の比重は基本 5 : 5 だが、学校によって 4 : 6 や 4.5 : 5.5 もある。
試験会場	各高校で面接等を実施 (2 月中旬)	各高校で実施 (3 月初旬) 南大東は交流センターで 2 日間実施
特記事項	・独自検査 (作文、実技等) を定めている学校もある。 ・一般選抜と同じ学力検査を受ける。 ・合否判定の方法、基準については、学校ごとに異なる。 ・特色選抜のみの出願は出来ない。 ・特色選抜と一般選抜は、別の高校・学科にも出願可能で、最大 2 校出願できる。	・募集人数に対して志願者が多い学科 (コース) については、希望する高校の許可を得て、1 度だけ志願変更することができる。



- ★調査書とは・・・検定や賞状などの実績や、出席状況、日頃の学校生活の様子についてまとめた書類。
- ★内申点とは・・・中学校 3 年間の 9 教科の成績の合計。
ただし、技能教科は 1.5 倍して計算する。
- ★評定平均とは・・・(中学校 3 年間の 9 教科の成績合計) ÷ 3
- ※私立や県外の高等学校などでは、選抜方法や基準が学校によって変わりますので、しっかりその高等学校の募集要項を確認しましょう！

(沖縄タイムス 2024 年 12 月 22 日紙面より一部抜粋)